

議会報告会報告書

平成30年11月5日

山陽小野田市議会

議長 小野 泰 様

B班

代表 吉永 美子

平成30年9月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成30年10月29日（月） 19:00～20:50

2 開催場所

厚狭地区複合施設

3 参加人数（市民）

5 人

4 担当班議員名

（ 吉永美子 ）（ 高松秀樹 ）（ 河崎平男 ）（ 松尾数則 ）
（ 杉本保喜 ）（ 奥 良秀 ）（ 森山喜久 ）（ 宮本政志 ）
（ 伊場 勇 ）（ 岡山 明 ）

5 報告会次第

（1） 市議会代表挨拶

（2） 9月議会の報告

- ① 総務文教常任委員会 （ 伊場 勇 ） [司会]（ 高松秀樹 ）
- ② 民生福祉常任委員会 （ 松尾数則 ） [記録]（ 岡山 明 ）
- ③ 産業建設常任委員会 （ 奥 良秀 ） [受付]（ 杉本保喜 ）
- ④ 理科大特別委員会 （ 森山喜久 ）

6 各班の意見（発表内容）

【Aグループ】

（総務文教常任委員会関係）

- ・エアコン設置のための補正予算は、調査委託料（実施設計へ変更）として1, 296万円である。（小中学校、幼稚園、また、未整備保育園も含まれる。）
- ・調査対象として、熱源である、電気・ガス方式での機器も含まれる。
- ・ランニングコスト等の負担は、今後の検討課題である。
- ・図書室への設置も行われる。
- ・エアコン設置に関し、全国的な事業展開である。設置の遅れの可能性があることを考慮していただきたい。

（民生福祉常任委員会関係）

- ・国保の知的・精神的障害者への支援等については、担当課での聞き取りが最善である。
- ・保険料は県内11番目であり、低いと思われる。現在基金残高は11億円、年間1億円は保険料の低減のために使われている。現状の基金残高はプラスの方向であるが、今後基金の食いつぶしとならないように、注視していただきたい。

（産業建設常任委員会関係）

- ・自治会費が少ない所はどうするのか検討してほしい。

（山口東京理科大学調査特別委員会関係）

- ・工事遅延に伴う責任は業者側か、市側か、明確になっていないのではないか。
- ・追加工事の額が大きく膨張しているが、市側の確認不足が大きな原因となっているのではないか。
- ・工期内に完成できない要因の一つに、監督する立場の市職員の危機管理、意識レベルが低いのではないか。

【Bグループ】

（総務文教常任委員会関係）

- ・エアコン設置のため財源は。国の補助があり、実質、市の負担は約4分の1である。
- ・ランニングコスト等の負担は。今後の検討課題である。
- ・エアコン設置に関し、夏・冬場における管理基準が必要である。
- ・学校図書司書の削減の話があるが、なぜ削減されるのか理由がわからない。司書を何のために設置したのか、どう評価・判断されたのか疑問である。

（民生福祉常任委員会関係）

- ・国保の保険料は県内13市中11番目と低く、いい取り組みで結果が出ている。
- ・ジェネリック医薬品の使用、特定健康診断の取り組み等、しっかりと推進していただきたい。

(産業建設常任委員会関係)

- ・毎年変わられる自治会長に対し、小規模土木事業の事業概要・内容が周知されていない。自治体への周知徹底を図る必要がある。

(山口東京理科大学調査特別委員会関係)

- ・追加・変更工事が多すぎる。工事契約等不満・不安をいただいている。
- ・空調設備の増額に対する不満が解消されてない中、変更、変更という工事内容である。監督する立場の市職員にも緊張感が緩まないか不安である。

7 全体での質問・意見・提言等

<質 問>

- ① リサイクルセンターの稼働時間について、平日は6時間となっている。短いのではないか。

[回 答]

担当委員会で調査を行う。

- ② 22名の議員定数であり、会派の必要性はないのではないか。

[回 答]

山陽小野田市議会基本条例には、会派を結成することができる」とある。会派は、政策を中心とした同一の理念を共有する議員で結成するものであって、政策提言等のために調査研究に努めなければならないとあり、必要性が認められる。

<意見・提言>

- ① 議会カフェの参加人数を増やしていただきたい。2017年「議会報告会」をテーマに早稲田大学の中村先生を招いて研修会を実施しているが、議員だけではなく市民も参加することで、議会に対する意識改革へとつながっていくのではないのでしょうか。そのことが「議会カフェ」参加者増加への足掛かりとなると思われまます。ぜひとも検討していただきたい。